

道銀文化財団 Art Ensemble # 16

北海道立近代美術館コンサート

三輪主恭バリトンリサイタル 歌で聴く日本の情景

三輪主恭 *Kazuyasu Miwa*
&

三輪 栞 *Shiori Miwa*



北海道立近代美術館

2022年10月8日(土)

18:30~19:10

北海道立近代美術館

展示室A

～近美コレクション～

『北の美のこころ』を携えて
現代ガラスの美

主催：北海道立近代美術館／公益財団法人 道銀文化財団

問合せ：道銀文化財団事務局 札幌市中央区大通西4丁目1 道銀ビル別館8F Tel 011-233-1029

Profile

Baritone

三輪 主 恭 みわ かずやす



長崎市出身／札幌市在住
昭和音楽大学声楽コース卒業。
在学時、給費奨学生として学費免除され、
テレサ・ベルガンサ、ウィリアム・マッテ
ウツィなどよりレッスンを受講。卒業後
はバリトン歌手として『カルメン』『椿姫』
『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』など、多く
のオペラに出演。特に八木幸三作曲の新作
オペラ『ノンノ』海鷲役と『アドリアーナ・
ルクヴルール』ミシヨネ役における歌唱、
演技は、音楽現代をはじめとする各誌で絶
賛された。日演連推薦オーケストラシリ
ーズ、ベートーヴェンの第九交響曲などお
いてソリストとして札幌交響楽団と共演。
第一回 hitaru オペラプロジェクト『フィガ
ロの結婚』にフィガロ役として出演予定。

Piano

三輪 栞 みわ しおり

札幌市出身／在住
北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース
卒業。同大学院修士課程修了。

ソロでのコンサートのほか、声楽、管楽器、
弦楽器、打楽器などとの共演を通して道内外
で演奏活動を行う。これまでに『愛の妙薬』『ロ
ングクリスマスディナー』『ノンノ』『アドリ
アーナ・ルクヴルール』など、多くのオペラで
コレペティートル及びオーケストラチェンバ
リストを務める。

現在は演出部メンバーとして hitaru オペラ
プロジェクト『フィガロの結婚』に携わり、
オペラ制作などにも活動の場を広げている。



Program

♪ 歌曲集『沙羅』より

丹澤 あづまやの 沙羅 鴉

信時 潔 曲 / 清水 重道 詩

♪ 歌曲集『五つの断章』

野辺 舟唄 (片戀)

あかき木の実 朝明 希望

團 伊玖磨 曲 / 北原 白秋 詩

♪ 歌曲集『枕草子』より

比べられない 初夏の契り 私の好きな月

上田 知華 曲 / 清少納言 原作 / 一倉 宏 訳詩

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。

本企画は、美術館という芸術の香り豊かな空間で、若手演奏家たちが音楽という異なる芸術(アート)との調和(アンサンブル)を創造し、発表する機会を提供するとともに、今後の芸術創作活動のステップアップにもつなげていただきたいと願うものです。

また、道民の皆さまには、北海道が育んだ若き芸術家たちが創造する音楽と美術作品との素晴らしい出会いをお楽しみいただき、北海道における芸術界の未来を担う若手芸術家たちの活躍に、あたたかいご声援をいただければ幸いです。

公益財団法人 道銀文化財団



♪ 歌曲集『沙羅』

1887年、牧師の息子として生まれた信時潔は幼少期から讃美歌に親しみ、のちに東京音楽学校へ進学。作曲を志してからは留学先でゲオルク・シューマンに師事するなど、専らドイツ音楽の薫陶を受けた。歌曲集『沙羅』における素朴で堅実な音楽語法は非常にドイツ的ながら、『あづまやの』『鴉』から窺い知れるとおり、催馬楽や浄瑠璃、狂言といった邦楽文化を巧みにクロスオーバーしてもいる。

♪ 歌曲集『五つの断章』

東京音楽学校在籍時に太平洋戦争に突入、自ら従軍した團伊玖磨の作曲家人生は、戦後すぐ幕を開ける。北原白秋の『思ひ出』『邪宗門』『東京景物詩』より編まれた歌曲集『五つの断章』は、團が復員して間もない1946年に発表された。『野辺』の茫漠たる寂寥や『朝明』の鮮烈な死のイメージ、そして眩いばかりの『希望』。大いなる喪失と、再生へ向かう力強さを、当時23歳の作曲者が澆刺とした筆致で描いている。

♪ 歌曲集『枕草子』

昨年、惜しくも64歳でこの世を去った作曲家上田知華は、1978年にバンド「KARYOBIN」を率い自らデビュー、解散後は今井美樹や松田聖子に楽曲提供するなど、主に作曲家として活動した。清少納言の『枕草子』は本日演奏する歌曲に用いられたテキストの中で最も古いのが、楽譜の出版は2014年と最も新しい。一倉宏によって現代語訳された歌詞は、高雅な曲調と共に、四季や草花に彩られた日本の原風景を鮮やかに思い起こさせる。現世をありのままに愛でる清少納言のまなざしが、千年の時を超えて私たちの胸を打つ。